

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103714
法人名	株式会社 エイジングウェル
事業所名	グループホームあゆーら
所在地	松山市枝松6丁目3番15号
自己評価作成日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループには、グループホームの他に、デイサービス(老人/小児)・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。
また、平成22年4月、グループホームの2階に開設した小規模多機能型居宅介護事業所との交流が簡単にでき、イベント等では、広い場所で両事業所の利用者様が、楽しんでおられる。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体法人は高齢者支援、障害者支援、家庭支援、託児事業等幅広い事業を展開しており、利用者同士の交流がある。当該事業所は開設12年目を迎え、小規模多機能事業所と併設されている。協力医療機関との24時間体制の医療連携の基看取りケアを実施し、安心感がある。住み慣れた地域での暮らしを支えるために、地域貢献の一つとして開催される夏祭りには200名を超える地域住民、家族の参加を得られている。今年度管理者の交代があり、新たな気持ちで互いの人間関係の構築や職員のレベルアップを図りながら、利用者のより良い人生をサポートする意欲が見られ、今後の伸展を期待したい。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 27 年 10 月 19 日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームあゆーら

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)

氏名 亀本信嗣

評価完了日

27年9月20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 利用者様の希望にそった介護を提供し、理念を常に意識し日々支援を行っております。地域の方々と交流できる理念、目標達成に向け取り込んでいる。	
			(外部評価) 法人理念と事業所理念を掲げ、各ユニット玄関に掲示し共有している。いつも笑顔の絶えない家づくりを目標にわかりやすく言語化しているが、地域密着型サービスの意義や役割を考え理念を理解し実践へつなげるまでには至っていない。今年度管理者の交代があり、今後職員で話し合いの機会を持つことを検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 毎年地域の方々に夏祭り、花火大会、秋祭り等、皆様と共に楽しく過ごして頂く中で、地域の一員として交流させていただいている。	
			(外部評価) 町内会長の協力を得て町内会活動への参加を深めており、季節行事である秋祭りには神輿入れや提灯行列が訪問してくれる。高校の実習受け入れや、事業所行事では専門学校生や小学生、園児等地域の子供と関わる機会が多い。事業所の夏祭りの行事には、チケットを散歩等で手配りし200名超の家族や地域住民の参加を得ている。事業所としてできることを利用者と共に楽しんで地域貢献に活かすことができている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議、ミーティング等において、私たちは情報を共有することで、実践、積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議、ミーティング等において、私たちは情報を共有することで、実践、積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p> <p>(外部評価) 市担当者や地域包括支援センター職員、近隣他事業所職員、同法人小規模多機能事業所職員の協力を得て開催している。事業所の活動や事例検討の発表のほか、参加者からは地域情報や行政情報の意見交換が行えている。近隣他事業所の運営推進会議への参加もあり、相互協力ができており、運営に関するアイデアを得る貴重な時間となっている。不参加職員へはミーティングで報告し情報を共有している。利用者家族等への参加呼びかけはしているものの参加が得られていない現状にあり、会議全体の見直し時期にある。</p>	<p>事業所の運営が地域に開かれたサービスとして質の確保や向上を図るために、会議議題やメンバーの見直しを含め会議全体の見直しを行い、双方にとって有意義な時間となるような取組みに期待したい。メンバーが積極的に関わられるように取り組むことで、率直な意見をもらいサービス向上に具体的に活かして欲しい。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 町内会長様、包括支援センター様、市役所等、(担当者)と連絡又は話し(実情)協力関係を築くようにしている。</p> <p>(外部評価) 市担当者は運営推進会議へ毎回参加を得ており、実情を伝えたり情報発信してもらっている。相互の協力関係が構築され、事務手続き等運営に関する相談が気軽にできている。地域包括支援センターと定期的に空室状況等の連絡や報告を継続させながら、良好な関係を深めていきたいと考えている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束の無いケアを実践する為スタッフ全員が話し合い協力体制を整え取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 身体拘束はしない方針で、管理者は行動を制限する具体的な行為を含む正しい理解について、毎月のミーティングで時間を設けている。気になる対応には職員同士で声を掛け合ったり交代することで抑圧感のないケアへつなげている。共有空間では非常口を含め施錠はなく、センサーを活用することで自由に出入りすることができる。利用者が外出しそうな様子があれば、安全面に配慮しながら見守りで対応することができる。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止についての外内部研修を受け、虐待が見過されな いか日々身体チェックを実施し、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	(自己評価) 外内部研修を受け、理解と活用し、関係者との話し合い、又 は支援できている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者様と家族様と一緒に、十分な説明、理解、納得をして いただいている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様と家族様の意見、要望等あれば、すぐに対応できる よう勤めている。	
			(外部評価) 利用者には日常の会話の中で把握し、家族等には日頃の様子 をお便りにして送付し、面会時や電話連絡で意見を伺ってい る。特に重要な事柄については直接面会し説明することを心 掛け、理解が得られるように努めている。生活の中で衣類や 入浴対応への要望が聞かれることもあり、意見や要望が聞か れた際には、職員同士で話し合い対応を共有することで早期 に運営に反映させている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 要望等あれば、すぐに対応できるよう勤めている。又必ずミーティングで意見交換を実施している。	
			(外部評価) 管理者もシフトに入り職員の実情を理解しており、日頃から職員と気軽に意見交換したり相談しやすい関係を築いている。また毎月のミーティングでは情報を共有し、学びの時間を設けている。施設長が定期的に訪問し、運営を把握している。法人代表者や施設長との面談の機会があり、現場職員からの意見や情報を取り入れ運営体制の調整へつなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 社長、所長、自ら各部署に顔を出し、スタッフ一人一人に声かけされ、就業環境の整備、各自が向上心を持って働けるよう整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外内部研修を実施する中で、スタッフ一人一人の力量、能力を把握、スタッフ一人一人のスキルアップに努めておられる。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 外部研修にて同業者の交流やネットワーク、勉強活動を通じ、サービスの向上、取り組みをしている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、家族様、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、家族様、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様のペースに合わせて本人様の好きなことをしていただき、何か本人様ができること、やってみたいこと、趣味や特技を聞き、コミュニケーションとりながらの関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時においてご本人様との楽しいひと時を用意させていただき、介護者として日ごろの様子、出来事、本人様にとって何が必要なのか、どのように過したのか等を共に考える機会とさせていただいている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や外出等の支援をしている。 (外部評価) 利用者のこれまで培ってきた人間関係や社会との関係を把握することに努め、アセスメントを行い申し送りやミーティングで情報を共有している。事業所での生活の中で新たに把握した情報を含め、半年毎にアセスメントし直し介護計画へとつなげている。家族等や知人の訪問の機会も多く、大切にしてきた関係を断ち切らない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) トランプ、カラオケ、外出等、レクレーション時等を通じ、お互いが共感しあえるような支援を努力している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用様との契約が終了されても、家族様へお祭の連絡や、イベント等の連絡をさせていただき関係を維持させていただいております。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様の言葉から思いや困っていることを探し、希望や意見を記録、スタッフ間における共通のご本人様への理解を深めている。 (外部評価) 日々の生活の中で利用者一人ひとりの希望や意向の把握に努め、送りノートで情報を共有している。利用者の何気ない会話の中に現れる希望に沿えるよう、本人の視点に立った検討や実現に努めている。思いを伝えることが困難な状況にあっても、利用者の表情やしぐさから感じ取ったり、これまでの生活歴の記録や家族等に協力を得て本人本位に検討することができる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族様から生活等教えていただき、生活をできるだけ変わらない環境からはじめ、プラスサービスの提供に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者様との会話等把握し記録に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 計画作成者と共々に、利用者様にあったケアプランを作成、本人様の現状にあった介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 職員担当制を敷き、利用者や家族等の要望と課題を元に原案を起し、介護計画を作成している。介護計画に連動した実施記録を記録することで、半年毎のモニタリングは根拠ある内容となっている。日常生活における介護記録等記録についてスキルの向上が必要と考えられており、様式の改善を含め課題とし検討されている。</p>	記録や様式の改善について検討している。利用者を身近に支える職員だからこそ知る事実やケアの気づきを客観的かつ具体的に記せるよう、研修や学びの機会を持つことでスキルの向上へつなげて欲しい。日々の記録を根拠にししながら、介護計画の見直しに活かせることに期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 毎日の申し送り時に特変事項の説明を行い日々変わるケア内容を共有している。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 利用者様にあった、又は希望によって、ヨガや習字、お花を行っている。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 駐車場内等に畑や花壇を作り、見たり触ったり、心身の力を発揮できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 契約医療機関との連携し、利用者様、家族様の希望を大切に し、外部の医療を受けられる支援をしている。	
			(外部評価) 協力医療機関と連携し、往診や緊急時を含め24時間体制で医 療が提供できる体制が整っている。利用者の殆どが協力医療 機関を利用しているが、専門医の受診等これまで利用してき た医療機関への受診も、家族等や職員同行にて希望に沿える よう支援されている。看護師も配置され、日々の健康管理に 配慮している。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 日常生活の中でとらえた情報は看護師へ相談し、看護師から 外部又は契約医療機関との指示を受け連携し支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 契約医療機関との連携し、利用者様、家族様の希望を大切に し、外部の医療、入院を受けられる関係作りをしている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 必ず家族様の意見を大切にし事業所のできることを十分に説 明をさせていただいている。	
			(外部評価) 看取りケアを実施し経験もある。重度化した場合における指 針を整備し、入居時に説明するほか、状況に応じて意向を話 し合う機会を設け柔軟な対応に努めている。看取りケアへの 職員研修があり、看取り実施前には対象利用者の状態に応じ たマニュアルを作成し、家族や医療機関と共有している。研 修等の機会を活用し職員の不安軽減を図りながら、家族と共 におくりたいと考えており、尊厳を支える看取りについて真 摯な姿勢で取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急救護、上級応急救護、非難訓練を定期的に行い、一人一人の実践力を身につけていて、マニュアルも備えている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣グループホーム二箇所にて火災、災害時の協力を約束していただいている。 (外部評価) 事業所は建物1階にあり避難ルートが確保しやすい。年2回消防署立ち合いでの昼夜想定避難訓練を行いアドバイスを受けている。防火担当の職員を配置し、職員の自主性やチームワークを高めた訓練を実施している。緊急時連絡網を備え、運営推進会議で参加を得ている近隣他事業所と助け合いができるようにしている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳やプライバシーを傷つけたり損ねたりすることが無いように配慮し心がけている。 (外部評価) 個人情報開示に関する同意書や画像使用に関する同意書を整備し、利用者や家族等に説明の上、同意を得ている。気になる対応や言葉かけについては、職員同士がその都度声を掛け合ったり、ミーティングで話し合いの機会を持ち、利用者の人格を尊重したケアへとつなげている。個人ファイル等は決められた位置に保管され、場面によって利用者をイニシャルで呼ぶ等特定されないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人様の言葉から思いや困っていることを探し、希望や意見を記録、自己決定できるように働きかけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者様のペースで希望にそった支援をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時本人様に選択していただいています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の盛り付け、色合いにこだわり、食事をいつも楽しんでいただく努力をしています。	
			(外部評価) 併設の小規模多機能事業所の職員が献立を担当しており、利用者の好みや希望を取り入れて作成し、買出しや調理を各ユニットで行っている。片付け等利用者のできることは一緒に手伝いながら支援することができている。盛り付けや色合いに配慮し、誕生日には利用者の希望の献立を楽しんだり、外食の機会を取り入れながら意向に応じている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取量等記録用紙を作り実施しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後一人一人航空内の清潔保持に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 出来るだけトイレ又はポータブルトイレにて排泄できるよう支援している。	
			(外部評価) 日常生活に歩行訓練等の運動を取り入れ、健康管理から自立にむけた支援に取り組んでいる。利用者個々の排泄パターンを把握し、トイレやポータブルトイレでの自然排泄を大切にしている。重度化によりおむつを使用する利用者もあるが、状態に合わせた用品の工夫を行いながら、できることを奪わない排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動、水分、繊維の多い食材を提供し便秘の予防に取り組んでいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者様の体調に合わせた入浴をすすめ支援をさせていただいています。	
			(外部評価) 週2回の利用を基本とし、健康面に配慮しながら利用者の希望に応じた対応をしている。各ユニットに個別浴槽を備えており、利用者への援助方法を職員で検討しながら、本人が納得して利用できるよう取り組んでいる。羞恥心を損ねない対応を心掛けながら、清潔保持に努めることができている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個人様の生活習慣に合わせ、休息の時間等を作り、本人様の気持ちを大切に支援をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) Dr から処方されている薬の内容を理解し、服用時は名前を確認、手渡しをしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 外出（ドライブ、買い物、散歩等）で気分転換の支援をしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者様の要望等聞き、普段は行けない場所にも協力しながら支援できています。	
			(外部評価) 季節毎の初詣や紅葉狩り、動物園等年間の計画を作成し、戸外へ出かけられるよう工夫している。利用者の思いに沿った行きたいところへ行ける支援は、理念の1つでもあり大切にされている。事業所向かいには公園があり、日常的に散歩等で気軽に地域住民と触れ合える環境にある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物の希望があれば同行し支援し、自由にお金を所持、使えるように支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望にそってやりとりができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を花壇に植えたり、リビングへ飾ったりし季節感を感じていただいている。 (外部評価) 訪問時は改装中であった。水回りやエアコンや壁等の傷みが生じた際には検討し、利用者が心地良く過ごせるように修繕が行われている。行事で外出を楽しんだ写真や季節の移り変わりが楽しめる共用空間づくりが検討されていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居室では自由に過ごしていただき、リビングにおいてはテレビ、ソファを設置し利用者様とのコミュニケーションがとれるように工夫しています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのあるものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者様、家族様の要望にて居室内にこたつや、仏壇など、本人様、家族様が居心地よく過せるように工夫、支援をしております。 (外部評価) 訪問時は一部居室が改装中であった。使い慣れたものや好みのあるものを持ち込んでもらうよう呼びかけている。家族写真やアルバム、仏壇等、利用者がそれぞれに思い入れのあるものを持ち込み、居心地良いスペースとなっている。習慣や希望に応じ畳敷きへの希望にも沿えるよう配慮され、居室は職員が清掃し清潔に整えられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室には個人の表札をかけさせていただき利用者様方がわかりやすいようにさせていただいており、共同の場においてもわかる支援をさせていただいております	

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103714
法人名	株式会社 エイジングウェル
事業所名	グループホームあゆーら
所在地	松山市枝松6丁目3番15号
自己評価作成日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループには、グループホームの他に、デイサービス(老人/小児)・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。
また、平成22年4月、グループホームの2階に開設した小規模多機能型居宅介護事業所との交流が簡単にでき、イベント等では、広い場所で両事業所の利用者様が、楽しんでおられる。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体法人は高齢者支援、障害者支援、家庭支援、託児事業等幅広い事業を展開しており、利用者同士の交流がある。当該事業所は開設12年目を迎え、小規模多機能事業所と併設されている。協力医療機関との24時間体制の医療連携の基看取りケアを実施し、安心感がある。住み慣れた地域での暮らしを支えるために、地域貢献の一つとして開催される夏祭りには200名を超える地域住民、家族の参加を得られている。今年度管理者の交代があり、新たな気持ちで互いの人間関係の構築や職員のレベルアップを図りながら、利用者のより良い人生をサポートする意欲が見られ、今後の伸展を期待したい。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 27 年 10 月 19 日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームあゆーら

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)

氏名

亀本信嗣

評価完了日

27年 9月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 利用者様の希望にそった介護を提供し、理念を常に意識し日々支援を行っております。地域の方々と交流できる理念、目標達成に向け取り込んでいる。	
			(外部評価) 法人理念と事業所理念を掲げ、各ユニット玄関に掲示し共有している。いつも笑顔の絶えない家づくりを目標にわかりやすく言語化しているが、地域密着型サービスの意義や役割を考え理念を理解し実践へつなげるまでには至っていない。今年度管理者の交代があり、今後職員で話し合いの機会を持つことを検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 毎年地域の方々に夏祭り、花火大会、秋祭り等、皆様と共に楽しく過ごして頂く中で、地域の一員として交流させていただいている。	
			(外部評価) 町内会長の協力を得て町内会活動への参加を深めており、季節行事である秋祭りには神輿入れや提灯行列が訪問してくれる。高校の実習受け入れや、事業所行事では専門学校生や小学生、園児等地域の子供と関わる機会が多い。事業所の夏祭りの行事には、チケットを散歩等で手配りし200名超の家族や地域住民の参加を得ている。事業所としてできることを利用者と共に楽しんで地域貢献に活かすことができている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議、ミーティング等において、私たちは情報を共有することで、実践、積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議、ミーティング等において、私たちは情報を共有することで、実践、積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	
			(外部評価) 市担当者や地域包括支援センター職員、近隣他事業所職員、同法人小規模多機能事業所職員の協力を得て開催している。事業所の活動や事例検討の発表のほか、参加者からは地域情報や行政情報の意見交換が行えている。近隣他事業所の運営推進会議への参加もあり、相互協力ができており、運営に関するアイデアを得る貴重な時間となっている。不参加職員へはミーティングで報告し情報を共有している。利用者家族等への参加呼びかけはしているものの参加が得られていない現状にあり、会議全体の見直し時期にある。	事業所の運営が地域に開かれたサービスとして質の確保や向上を図るために、会議議題やメンバーの見直しを含め会議全体の見直しを行い、双方にとって有意義な時間となるような取組みに期待したい。メンバーが積極的に関わられるように取り組むことで、率直な意見をもらいサービス向上に具体的に活かして欲しい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 町内会長様、包括支援センター様、市役所等、(担当者)と連絡又は話し(実情)協力関係を築くようにしている。	
			(外部評価) 市担当者は運営推進会議へ毎回参加を得ており、実情を伝えたり情報発信してもらっている。相互の協力関係が構築され、事務手続き等運営に関する相談が気軽にできている。地域包括支援センターと定期的に空室状況等の連絡や報告を継続させながら、良好な関係を深めていきたいと考えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の無いケアを実践する為スタッフ全員が話し合い協力体制を整え取り組んでいる。	
			(外部評価) 身体拘束はしない方針で、管理者は行動を制限する具体的な行為を含む正しい理解について、毎月のミーティングで時間を設けている。気になる対応には職員同士で声を掛け合ったり交代することで抑圧感のないケアへつなげている。共有空間では非常口を含め施錠はなく、センサーを活用することで自由に出入りすることができる。利用者が外出しそうな様子があれば、安全面に配慮しながら見守りで対応することができる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止についての外内部研修を受け、虐待が見過されな いか日々身体チェックを実施し、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	(自己評価) 外内部研修を受け、理解と活用し、関係者との話し合い、又 は支援できている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者様と家族様と一緒に、十分な説明、理解、納得をして いただいている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様と家族様の意見、要望等あれば、すぐに対応できる よう勤めている。	
			(外部評価) 利用者には日常の会話の中で把握し、家族等には日頃の様子 をお便りにして送付し、面会時や電話連絡で意見を伺ってい る。特に重要な事柄については直接面会し説明することを心 掛け、理解が得られるように努めている。生活の中で衣類や 入浴対応への要望が聞かれることもあり、意見や要望が聞か れた際には、職員同士で話し合い対応を共有することで早期 に運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 要望等あれば、すぐに対応できるよう勤めている。又必ずミーティングで意見交換を実施している。	
			(外部評価) 管理者もシフトに入り職員の実情を理解しており、日頃から職員と気軽に意見交換したり相談しやすい関係を築いている。また毎月のミーティングでは情報を共有し、学びの時間を設けている。施設長が定期的に訪問し、運営を把握している。法人代表者や施設長との面談の機会があり、現場職員からの意見や情報を取り入れ運営体制の調整へつなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 社長、所長、自ら各部署に顔を出し、スタッフ一人一人に声かけされ、就業環境の整備、各自が向上心を持って働けるよう整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外内部研修を実施する中で、スタッフ一人一人の力量、能力を把握、スタッフ一人一人のスキルアップに努めておられる。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 外部研修にて同業者の交流やネットワーク、勉強活動を通じ、サービスの向上、取り組みをしている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、家族様、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 計画作成者と共に、家族様、利用者様に耳を傾け、本人様の問題を分析し、スタッフ一丸となって安心を確保するよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様のペースに合わせて本人様の好きなことをしていただき、何か本人様ができること、やってみたいこと、趣味や特技を聞き、コミュニケーションとりながらの関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時においてご本人様との楽しいひと時を用意させていただき、介護者として日ごろの様子、出来事、本人様にとって何が必要なのか、どのように過したのか等を共に考える機会とさせていただいている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や外出等の支援をしている。 (外部評価) 利用者のこれまで培ってきた人間関係や社会との関係を把握することに努め、アセスメントを行い申し送りやミーティングで情報を共有している。事業所での生活の中で新たに把握した情報を含め、半年毎にアセスメントし直し介護計画へとつなげている。家族等や知人の訪問の機会も多く、大切にしてきた関係を断ち切らない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) トランプ、カラオケ、外出等、レクレーション時等を通じ、お互いが共感しあえるような支援を努力している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用様との契約が終了されても、家族様へお祭の連絡や、イベント等の連絡をさせていただき関係を維持させていただいております。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様の言葉から思いや困っていることを探し、希望や意見を記録、スタッフ間における共通のご本人様への理解を深めている。 (外部評価) 日々の生活の中で利用者一人ひとりの希望や意向の把握に努め、送りノートで情報を共有している。利用者の何気ない会話の中に現れる希望に沿えるよう、本人の視点に立った検討や実現に努めている。思いを伝えることが困難な状況にあっても、利用者の表情やしぐさから感じ取ったり、これまでの生活歴の記録や家族等に協力を得て本人本位に検討することができている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族様から生活等教えていただき、生活をできるだけ変わらない環境からはじめ、プラスサービスの提供に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者様との会話等把握し記録に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 計画作成者と共々に、利用者様にあったケアプランを作成、本人様の現状にあった介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 職員担当制を敷き、利用者や家族等の要望と課題を元に原案を起し、介護計画を作成している。介護計画に連動した実施記録を記録することで、半年毎のモニタリングは根拠ある内容となっている。日常生活における介護記録等記録についてスキルの向上が必要と考えられており、様式の改善を含め課題とし検討されている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 毎日の申し送り時に特変事項の説明を行い日々変わるケア内容を共有している。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 利用者様にあった、又は希望によって、ヨガや習字、お花を行っている。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 駐車場内等に畑や花壇を作り、見たり触ったり、心身の力を発揮できるよう支援している。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 契約医療機関との連携し、利用者様、家族様の希望を大切に し、外部の医療を受けられる支援をしている。</p> <p>(外部評価) 協力医療機関と連携し、往診や緊急時を含め24時間体制で医 療が提供できる体制が整っている。利用者の殆どが協力医療 機関を利用しているが、専門医の受診等これまで利用してき た医療機関への受診も、家族等や職員同行にて希望に沿える よう支援されている。看護師も配置され、日々の健康管理に 配慮している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 日常生活の中でとらえた情報は看護師へ相談し、看護師から 外部又は契約医療機関との指示を受け連携し支援している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 契約医療機関との連携し、利用者様、家族様の希望を大切に し、外部の医療、入院を受けられる関係作りをしている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 必ず家族様の意見を大切にし事業所のできることを十分に説 明をさせていただいている。</p> <p>(外部評価) 看取りケアを実施し経験もある。重度化した場合における指 針を整備し、入居時に説明するほか、状況に応じて意向を話 し合う機会を設け柔軟な対応に努めている。看取りケアへの 職員研修があり、看取り実施前には対象利用者の状態に応じ たマニュアルを作成し、家族や医療機関と共有している。研 修等の機会を活用し職員の不安軽減を図りながら、家族と共 におくりたいと考えており、尊厳を支える看取りについて真 摯な姿勢で取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急救護、上級応急救護、非難訓練を定期的に行い、一人一人の実践力を身につけていて、マニュアルも備えている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 近隣グループホーム二箇所にて火災、災害時の協力を約束していただいている。 (外部評価) 事業所は建物1階にあり避難ルートが確保しやすい。年2回消防署立ち合いでの昼夜想定避難訓練を行いアドバイスを受けている。防火担当の職員を配置し、職員の自主性やチームワークを高めた訓練を実施している。緊急時連絡網を備え、運営推進会議で参加を得ている近隣他事業所と助け合いができるようにしている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳やプライバシーを傷つけたり損ねたりすることが無いように配慮し心がけている。 (外部評価) 個人情報開示に関する同意書や画像使用に関する同意書を整備し、利用者や家族等に説明の上、同意を得ている。気になる対応や言葉かけについては、職員同士がその都度声を掛け合ったり、ミーティングで話し合いの機会を持ち、利用者の人格を尊重したケアへとつなげている。個人ファイル等は決められた位置に保管され、場面によって利用者をイニシャルで呼ぶ等特定されないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人様の言葉から思いや困っていることを探し、希望や意見を記録、自己決定できるように働きかけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者様のペースで希望にそった支援をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時本人様に選択していただいています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の盛り付け、色合いにこだわり、食事をいつも楽しんでいただく努力をしています。	
			(外部評価) 併設の小規模多機能事業所の職員が献立を担当しており、利用者の好みや希望を取り入れて作成し、買出しや調理を各ユニットで行っている。片付け等利用者のできることは一緒に手伝いながら支援することができている。盛り付けや色合いに配慮し、誕生日には利用者の希望の献立を楽しんだり、外食の機会を取り入れながら意向に応じている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取量等記録用紙を作り実施しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後一人一人航空内の清潔保持に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 出来るだけトイレ又はポータブルトイレにて排泄できるよう支援している。	
			(外部評価) 日常生活に歩行訓練等の運動を取り入れ、健康管理から自立にむけた支援に取り組んでいる。利用者個々の排泄パターンを把握し、トイレやポータブルトイレでの自然排泄を大切にしている。重度化によりおむつを使用する利用者もあるが、状態に合わせた用品の工夫を行いながら、できることを奪わない排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動、水分、繊維の多い食材を提供し便秘の予防に取り組んでいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者様の体調に合わせた入浴をすすめ支援をさせていただいています。	
			(外部評価) 週2回の利用を基本とし、健康面に配慮しながら利用者の希望に応じた対応をしている。各ユニットに個別浴槽を備えており、利用者への援助方法を職員で検討しながら、本人が納得して利用できるよう取り組んでいる。羞恥心を損ねない対応を心掛けながら、清潔保持に努めることができている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個人様の生活習慣に合わせ、休息の時間等を作り、本人様の気持ちを大切に支援をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) D r から処方されている薬の内容を理解し、服用時は名前を確認、手渡しをしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 外出（ドライブ、買い物、散歩等）で気分転換の支援をしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者様の要望等聞き、普段は行けない場所にも協力しながら支援できています。	
			(外部評価) 季節毎の初詣や紅葉狩り、動物園等年間の計画を作成し、戸外へ出かけられるよう工夫している。利用者の思いに沿った行きたいところへ行ける支援は、理念の1つでもあり大切にされている。事業所向かいには公園があり、日常的に散歩等で気軽に地域住民と触れ合える環境にある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物の希望があれば同行し支援し、自由にお金を所持、使えるように支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望にそってやりとりができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を花壇に植えたり、リビングへ飾ったりし季節感を感じていただいている。 (外部評価) 訪問時は改装中であった。水回りやエアコンや壁等の傷みが生じた際には検討し、利用者が心地良く過ごせるように修繕が行われている。行事で外出を楽しんだ写真や季節の移り変わりが楽しめる共用空間づくりが検討されていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居室では自由に過ごしていただき、リビングにおいてはテレビ、ソファを設置し利用者様とのコミュニケーションがとれるように工夫しています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者様、家族様の要望にて居室内にこたつや、仏壇など、本人様、家族様が居心地よく過せるように工夫、支援をしております。 (外部評価) 訪問時は一部居室が改装中であった。使い慣れたものや好みのもを持ち込んでもらうよう呼びかけている。家族写真やアルバム、仏壇等、利用者がそれぞれに思い入れのあるものを持ち込み、居心地良いスペースとなっている。習慣や希望に応じ畳敷きへの希望にも沿えるよう配慮され、居室は職員が清掃し清潔に整えられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室には個人の表札をかけさせていただき利用者様方がわかりやすいようにさせていただいており、共同の場においてもわかる支援をさせていただいております	